

参考資料

資料 1	産業高校（仮称）の基本的構想……………	2 0
	産業高校（仮称）の教育課程編成例	
資料 2	専門高校における学科の変遷……………	2 8
資料 3	専門高校検討委員会の検討経過報告……………	2 9
資料 4	専門高校検討委員会設置要綱及び委員名簿……………	3 0
資料 5	専門高校検討委員会 専門部会設置要綱及び委員名簿……………	3 2
資料 6	専門高校検討委員会 商業分科会設置要綱及び委員名簿……………	3 4
資料 7	専門高校検討委員会 工業分科会設置要綱及び委員名簿……………	3 6

産業高校（仮称）の基本的構想

1 着想の背景

- ・ 生徒の興味、関心、進路希望に基づいて選択できる多様な専門教科・科目の設置による専門高校の活性化
- ・ 特定の分野に限定されない多様な知識・技能を持った人材の地域産業への供給
- ・ 大学進学を希望する生徒にも対応できる教育課程を備えた専門高校

2 設置の意義

- (1) 職業学科の教育を通して、確かな職業観・専門的な能力（ビジネスの遂行能力・営業力・情報活用力・問題発見能力・技術の応用力）を習得できる教育システムを作る。
- (2) 商業・工業等の異なる学科を関連・融合させて、商品の生産・流通（商的・物的・情報）消費に至る過程に関する知識・技能を広く総合的に学習していくためのシステムを作る。
- (3) 長期にわたる産業現場の実習や高等教育機関等との連携により、先端的な工業・情報技術・ビジネスの基礎を体験的に学習し、職業人としての資質・能力を育成する。

3 学校の教育理念

(1) 学校像

例：専門分野の優れた職業能力や進路選択能力・職業意識を育成する学校

(2) 育てたい生徒像

例：ものづくり・流通・ビジネス活動等に関心を持ち、意欲的に学習する生徒
：多様化する社会の実情に対応できる、広い知識と経験を兼ね備えた生徒

(3) 教育理念

例：選択制と単位制の活用を図り、生徒の職業適性に応じた教育を展開する。
：企業や大学など地域社会との連携を強め、専門的な知識や技術を深める。

4 教育課程

(1) 基本的な考え方

- ・ 新学科「産業科」を創設し、工業技術基礎・ビジネス基礎等の専門科目を設置する
- ・ 学校設定教科「起業家精神と職業生活」「キャリアガイダンス」「産業実習」を設置し、職業人としての幅広い知識とマナーを身につけるためのガイダンス機能を充実させるとともに、インターンシップを大幅に取り入れ、就業観・勤労観を体得させる。
- ・ 大学進学等、多様な進路希望に対応するために、1年次より自由選択科目を設置する。
なお、3年次の産業実習には大学等の受講も含む。

(2) 教育課程の内容

後述の「 教育課程の編成例」を参照

5 卒業後の進路

- ・ 就職（将来、店や工場等の経営者になる志をもって就職する）
- ・ 大学等への進学

産業高校（仮称）の教育課程編成例

1 教育課程編成に当たっての基本的な考え方

- (1) 専門性の基礎・基本は、工業技術基礎・ビジネス基礎等の専門科目を通して身につける。
- (2) 社会人としてのマナーや職業観・勤労観については、1年次に実施する企業就業体験やガイダンス担当教員との面談、学校設定科目「起業家精神と職業生活」を通して身につける。
- (3) 以上2点を1年次で十分身に付け、その上に2年次以降、学校設定科目「産業実習」等において、それぞれの分野別に就業体験を実施し、体験的に専門性を身につけていく。

工業・商業の各分野における幅広い体験学習を通し、生徒は自らの職業適性を考えながら、高校卒業後の進路選択をしていくところに本校の特色がある。

商業科・工業科双方の専門知識や技術を身に付け、幅広い知識を持った職業人の育成を目指す。多様化する社会の実情に対応できる、広い知識と経験を兼ね備えた人材の育成を目指す。

2 教育課程の編成例

(1) 専門科目について [工業・商業系の原則履修科目]

工業技術基礎・・・3単位

ビジネス基礎・・・2単位

課題研究・・・3単位

(2) 自由選択教科・科目について [多数用意する中的一部分を例示]

経営とは何か・・・2単位 大学生活に繋がる英語・・・3単位

大学で何を学ぶか・・・2単位 英語探求・・・4単位

大学生活に繋がる数学・・・3単位 数学探求・・・4単位 他

(3) 普通教科等について

「総合的な学習の時間」は「課題研究」で代替。

「情報」は「情報技術基礎」で代替。

(4) 学校必修履修科目「産業実習」について

「産業実習」は、様々な産業について学ぶ産業高校の核となる科目である（座学だけではなく、就業体験を数多く取り入れる）就業体験期間は3日～4週間程度とし、学年を経るごとに日数が増える。

(5) 学校必修履修科目「産業簿記」について

「産業簿記」（2単位）は、2・3年次の学校必修履修科目とする。この科目では、簿記の基礎的事項から原価計算の基礎的事項までを幅広く学ぶ。

(6) 系列選択科目について

2年次には、商業系と工業系の様々な選択科目の中から、おのこの4単位分を選択履修する。

(7) 3年次の実習科目について(例示)

3年次には、次に示す実習科目の中から一つのテーマを選択して履修する。

- 営業・メンテナンス実習・・・5単位
- 生産調整・ネット流通実習・・・5単位
- 商品企画・販売実習・・・・・・5単位

3 系列の例示(ここに示すものはあくまでも例示である)

生徒個々の進路希望により、他にも様々な系列が考えられる。

電気・電子系の例	機械・設備系の例	経営・流通系の例	販売・サービス系の例	情報・ビジネス系の例
学校必修科目の例示 (は学校設定科目)				
工業技術基礎 情報技術基礎 ビジネス基礎 起業家精神と職業生活 ガイダンス 産業鑑記 産業実習				
工業・商業系選択科目の例示 (は学校設定科目)				
商品製造実習 地球環境科学 商品と流通 マーケティング など	商品製造実習 地球環境科学 商品と流通 マーケティング など	商品と流通 マーケティング 工業技術基礎 地球環境科学 など	商品と流通 マーケティング 工業技術基礎 地球環境科学 など	商品と流通 情報技術基礎 ネットワーク技術 地球環境科学 など
自由選択科目例示	自由選択科目例示	自由選択科目例示	自由選択科目例示	自由選択科目例示
営業・メンテナンス実習 電気工事実習 経営とは何か 生産システム技術 材料測定(鑑別)実習 電気機器 電気・電子基礎 電気・電子製図 工業管理技術 電気工事士演習 など	営業・メンテナンス実習 原価計算 生産システム技術 経営とは何か ポイラー実習 工業管理技術 電気・電子計測実習 冷凍機械 機械製図 伝統技能伝承 など	生産調整・ネット流通実習 多品種少量生産論 経営とは何か 実務英語 商品管理とデータベース ネットショッピング企画実習 シミュレーションゲーム実習 ネットワーク技術実習 店舗立地条件と利益論 SOHO実習 など	商品企画・販売実習 工業意匠基礎 工業意匠実習 経営とは何か 商品製造実習 デザイン技術 接客実習 プレゼンテーション実習 簿記 原価計算 など	商品企画・販売実習 情報処理 ビジネス情報 英語実務 マルチメディア応用 経営とは何か ネットワーク技術実習 プレゼンテーション実習 簿記 原価計算 など

- * 多様な選択教科が多数設置される産業高校では、授業時数確保の観点から、2学期制として実施することが考えられる。
- * 学校設定教科・科目は(仮称)産業学科としての特色ある内容とする。
- * 教育課程の編成は、単なる商業・工業の既存の科目を設置するのではなく、産業学科としての出口を考え、学校設定教科・科目を充実する。さらに、生徒の進路希望に応じて系統的に履修できるよう、ガイダンス機能の充実を図り、きめ細かな履修指導を行う。

教科・科目等の基本構成

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	自由 選択	工業技 術基礎		情報 技術 基礎		ビジ ネス 基礎		起 業 者 精 神	ガイ ダ ン ス	産 業 実 習	数学 基礎		国語 表現		理科 総合 A		地理 A		家庭 基礎		芸術		英語		保健		体育		HR	
2年次	自由選択					工業系 選択科目			商業系 選択科目			産業 簿記		産業 実習		理科 総合 B		現代 社会		世界 史A		OCI		保健		体育		HR		
3年次	自由選択							実習(選択)				産業 簿記		産業 実習		消費 生活		課題研究		OC		体育		HR						

- * 自由選択は、進路希望に応じて自由選択科目の中から履修することになるが、HR3単位を除く74単位を修得することで卒業が可能になる。
- * 3年次の実習は、実習科目の中から選択履修する。
- * 3年次の実習（選択）は、学校内の施設・設備を使って実施する。

履修例1 技術のわかる営業担当者を目指す生徒の例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	電気 電子 製図	工業技 術基礎		情報 技術 基礎		ビジ ネス 基礎		起 業 者 精 神	ガイ ダ ン ス	産 業 実 習	数学 基礎		国語 表現		理科 総合 A		地理 A		家庭 基礎		芸術		英語		保健		体育		HR	
2年次	電気・電子基礎 (実習を含む)					商品 製造 実習		地球 環境 科学		マーケ ティ ング	商品と 流通		産業 簿記		産業 実習		理科 総合 B		現代 社会		世界 史A		OCI		保健		体育		HR	
3年次	工業管 理技術		生産ス テム技術		経営 とは 何か		商品企画・販 売実習				産業 簿記		産業 実習		消費 生活		課題研究		OC		体育		HR							

- * 1～3年次の産業実習の中で、企業就業体験を実施する。
- * 2・3年次の産業実習の中に起業者精神・ガイダンスの要素が含まれている。

履修例2 生産調整・ネット流通ができる営業担当者を目指す生徒例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	経営とは何か	工業技術基礎	情報技術基礎	ビジネス基礎	起業精神	ガイダンス	産業実習	数学基礎	国語表現	理科総合A	地理A	家庭基礎	芸術	英語	保健	体育	HR													
2年次	実務英語	簿記	商業技術	工業技術基礎	地球環境科学	マーケティング	商品と流通	産業簿記	産業実習	理科総合B	現代社会	世界史A	OCI	保健	体育	HR														
3年次	バイオ実習	商品製造実習	文書デザイン	生産調整・ネット流通実習			産業簿記	産業実習	消費生活	課題研究	OC	体育	HR																	

- * 1～3年次の産業実習の中で、企業就業体験を実施する。
- * 2・3年次の産業実習の中に、起業家精神・ガイダンスの要素が含まれている。

履修例3 生産管理・在庫管理ができるサービスエンジニアを目指す生徒の例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	電気電子基礎	工業技術基礎	情報技術基礎	ビジネス基礎	起業精神	ガイダンス	産業実習	数学基礎	国語表現	理科総合A	地理A	家庭基礎	芸術	英語	保健	体育	HR													
2年次	電気・電子基礎	電気機器	商品製造実習	地球環境科学	マーケティング	商品と流通	産業簿記	産業実習	理科総合B	現代社会	世界史A	OCI	保健	体育	HR															
3年次	工業管理技術	生産システム技術	経営とは何か	営業・メンテナンス実習			産業簿記	産業実習	消費生活	課題研究	OC	体育	HR																	

- * 1～3年次の産業実習の中で、企業就業体験を実施する。
- * 2・3年次の産業実習の中に、起業家精神・ガイダンスの要素が含まれている。

履修例 4 学校で学んだ専門の基礎をさらに深めるために大学等進学を目指す生徒の例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 年次	大学で何を学ぶか	工業技術基礎	情報技術基礎	ビジネス基礎	起業者精神	ガイダンス	産業実習	数学基礎	国語表現	理科総合A	地理A	家庭基礎	芸術	英語	保健	体育	HR														
2 年次	大学生生活に繋がる英語	大学生生活に繋がる数学	工業数理基礎	地球環境科学	マーケティング	商品と流通	産業簿記	産業実習(高大連携含む)	理科総合B	現代社会	世界史A	OCI	保健	体育	HR																
3 年次	数学探求	英語探求	実習(選択)			産業簿記	産業実習(高大連携含む)	消費生活	課題研究	OC	体育	HR																			

- * 1～3年次の産業実習の中で、企業就業体験及び大学等での授業体験（高大連携による単位認定）を実施する。
- * 3年次の「数学探求」「英語探求」で大学進学後の一般教養科目を学習できるだけの力をつける。

専門高校における学科の変遷

資料 2

商 業	昭和 3 8 年	商業
	昭和 5 6 年	商業 情報処理
	平成 1 3 年	商業 情報処理 会計 国際会計 総合ビジネス
工 業	昭和 3 8 年	機械 電気 電子 自動車 建築 建設 金属工芸 室内工芸 デザイン 設備工業 食品工業 工業化学 電気化学 色染化学 金属材料 紡織 航空機体 航空原動機 印刷 化学工業
	昭和 5 6 年	機械 電気 電子 自動車 建築 建設 金属工芸 室内工芸 デザイン 設備工業 食品工業 金属工業 化学工学 工業化学 電気化学 色染化学 繊維工学 繊維デザイン 印刷
	平成 1 3 年	機械 電気 電子 自動車 電子機械 電子技術 情報技術 科学技術 総合技術 電気情報 総合情報 建築 建設 建築工学 都市工学 設備工業 食品工業 化学 工業化学 応用化学 環境化学 デザイン アートクラフト マシンクラフト インテリア カラーリングアーツ 応用デザイン グラフィックアーツ 繊維デザイン
農 業	昭和 3 8 年	農畜 園芸 造園 食品化学 畜産 農産 農業 林業 農林 農業土木 農産製造 農芸
	昭和 5 6 年	園芸 造園 食品化学 畜産 農業 林業 農業土木 農産製造 食品製造 緑地土木 農芸 農産 農林
	平成 1 3 年	園芸 都市園芸 園芸科学 園芸デザイン 造園デザイン 緑地計画 緑地環境 食品 食品科学 食品製造 畜産科学 農業土木 林業 農林 農業 農芸 農産
家 庭	昭和 3 8 年	家政 食物 被服
	昭和 5 6 年	家政 食物
	平成 1 3 年	家政 食物 服飾 生活文化
水 産	昭和 3 8 年	水産
	昭和 5 6 年	海洋
	平成 1 3 年	海洋

専門高校検討委員会の検討経過

資料3

検討委員会（全5回）		専門部会（全9回）	
12月19日（水）第1回検討委員会		第1回専門部会 合同開催	
<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の設置について ・都立専門高校の現状と課題について ・高校改革の現状と施策の方向性について 			
1月21日（月）第2回検討委員会		第2回専門部会 合同開催	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係者からの事情聴取 ・今後の検討について 			
		2月 8日（金）第3回専門部会	
		2月20日（水）第4回専門部会	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の専門高校のあり方について ・産業高校の基本的な考え方 			
3月 8日（金）第3回検討委員会		第5回専門部会 合同開催	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の専門高校のあり方について 			
		4月 9日（金）第6回専門部会	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の専門高校のあり方について ・産業高校について 			
4月24日（水）第4回検討委員会		第7回専門部会 合同開催	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の専門高校のあり方について ・産業高校について 			
		5月10日（金）第8回専門部会	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校検討委員会報告書について ・産業高校の教育課程・基本構想 ・東京版デュアルシステムについて 			
5月17日（金）第5回検討委員会		第9回専門部会 合同開催	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校検討委員会報告書について ・産業高校の教育課程・基本構想 ・東京版デュアルシステムについて 			
商業分科会（全5回）		工業分科会（全5回）	
12月25日（火）第1回商業分科会		12月26日（水）第1回工業分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の職業訓練行政について ・商業高校の現状 ・商業高校に対する都民のニーズ ・商業高校に対する社会のニーズ ・ニーズへの対策 		<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校の現状 ・工業高校に対する都民のニーズ ・工業高校に対する社会のニーズ ・ニーズへの対策 	
1月29日（火）第2回商業分科会		1月22日（火）第2回工業分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回専門高校検討委員会の報告 ・求められる商業高校像 		<ul style="list-style-type: none"> ・第2回専門高校検討委員会の報告 ・求められる工業高校像 	
2月15日（金）第3回商業分科会		2月14日（木）第3回工業分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・第3回専門部会の報告 ・今後の商業高校のあり方について ・産業高校について 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回専門部会の報告 ・今後の工業高校のあり方について ・産業高校について 	
3月27日（水）第4回商業分科会		3月28日（木）第4回工業分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・第3回専門高校検討委員会の報告 ・情報に特色のある商業高校について 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回専門高校検討委員会の報告 ・実験実習重点型工業高校について 	
5月 2日（木）第5回商業分科会		第5回工業分科会 合同分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・第4回専門高校検討委員会の報告 ・専門高校検討委員会報告書について ・産業高校の教育課程について 			

専門高校検討委員会設置要綱

(設 置)

第 1 専門高校の実態を踏まえ、今後の専門高校のあり方について検討するため、東京都教育委員会に「専門高校検討委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第 2 委員会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、その結果を東京都教育委員会教育長に報告する。

- (1) 専門高校の活性化策に関する事。
- (2) 今後の商業教育のあり方に関する事。
- (3) 今後の工業教育のあり方に関する事。
- (4) その他検討を要する事。

(構 成)

第 3 委員会は、学識経験者、産業界代表、東京都教育庁関係者及び東京都立高等学校関係者をもって構成し、委員長及び副委員長を置く。

- 2 構成員は別紙のとおりとする。

(設置期間)

第 4 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成 14 年 6 月 30 日までとする。

(専門部会)

第 5 委員会に、専門的事項を調査検討するための専門部会を置くことができる。

(分科会)

第 6 委員会に、個別分野の課題を検討するための分科会を置くことができる。

(庶 務)

第 7 委員会の庶務は、学務部都立高校改革推進担当が担当する。

(意見聴取)

第 8 委員会は、必要に応じて学識経験者等の意見を聴取することができる。

(その他)

第 9 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関する事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年 12 月 19 日から施行する。

専門高校検討委員会 委員名簿

区分	氏名	職名	備考
学識 経験者	石島辰太郎	東京都立科学技術大学学長	
	伊永隆史	東京都立大学大学院教授	
	清水希益	拓殖大学商学部教授	
産業界	島村元紹	島村楽器代表取締役社長	東京商工会議所推薦
学 校 関 係 者	塚越博	東京都立足立工業高等学校長	
	野上明夫	東京都立向島工業高等学校長	
	黒葛原正展	東京都立池袋商業高等学校長	
	石川千尋	東京都立芝商業高等学校長	
	上松信義	東京都立農産高等学校長	
庁 内 関 係 者	押切重洋	教育庁次長	委員長
	小田原 榮	教育庁理事(教職員研修センター所長)	副委員長～H14.3.31
	斎藤尚也	教育庁指導部長	～H14.3.31
		教育庁理事(教職員研修センター所長)	副委員長H14.4.1～
	比留間英人	教育庁学務部長	
	山際成一	教育庁都立高校改革推進担当部長	
近藤精一	教育庁指導部長	H14.4.1～	

専門高校検討委員会専門部会設置要綱

(設 置)

第 1 専門高校検討委員会設置要綱第 5 に基づき、今後の専門高校のあり方について具体的方策を検討するため、専門部会を設置する。

(所掌事項)

第 2 専門部会は、次に掲げる事項について専門的、具体的に検討し、その結果を専門高校検討委員会に報告する。

- (1) 専門高校の活性化の具体的方策に関する事。
- (2) 今後の商業高校のあり方に関する事。
- (3) 今後の工業高校のあり方に関する事。
- (4) その他検討を要する事。

(構 成)

第 3 専門部会は、東京都教育庁関係者及び東京都立高等学校関係者をもって構成し、部会長及び副部会長を置く。

- 2 構成員は別紙のとおりとする。

(設置期間)

第 4 専門部会の設置期間は、専門部会が設置された日から委員会に最終報告する日までとする。

(庶 務)

第 5 専門部会の庶務は、学務部都立高校改革推進担当が担当する。

(意見聴取)

第 6 専門部会は、必要に応じて学識経験者等の意見を聴取することができる。

(その他)

第 7 この要綱に定めるもののほか、専門部会の運営に関する事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年 12 月 19 日から施行する。

専門高校検討委員会 専門部会 委員名簿

区分	氏名	職名	備考
教育関係者	舟橋 淳	学務部高等学校教育課長	部会長
	伊東 みどり	学務部都立高校改革推進担当課長	副部会長
	直原 裕	総務部教育政策室企画担当課長	
	森口 純	人事部人事計画課長	
	吉田 崇雄	指導部高等学校教育指導部長	～ H14.3.31
	賀澤 恵二	指導部高等学校教育指導課長	H14.4.1～
	間瀬 友典	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
	石川 恵一郎	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
学校関係者	塚越 博	東京都立足立工業高等学校長	
	野上 明夫	東京都立向島工業高等学校長	
	黒葛原 正展	東京都立池袋商業高等学校長	
	石川 千尋	東京都立芝商業高等学校長	
	上松 信義	東京都立農産高等学校長	
事務局	佐藤 正人	学務部高等学校教育課計画係長	～ H14.3.31
	土屋 三男	学務部高等学校教育課経理係長	～ H14.3.31
		学務部高等学校教育課計画係長	H14.4.1～
	魚津 統英	学務部高等学校教育課経理係長	H14.4.1～
	磯崎 美穂	学務部高等学校教育課計画担当係長	～ H14.3.31
	柳沢 祐子	学務部高等学校教育課計画担当係長	H14.4.1～
	森田 明夫	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	～ H14.3.31
	曾根 稔	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	H14.4.1～
	荒井 秀樹	学務部高等学校教育課課務担当係長	H14.4.1～
	高田 憲一	指導部高等学校教育指導課指導主事	～ H14.3.31
	佐々木 哲	指導部高等学校教育指導課指導主事	
平沢 安正	指導部高等学校教育指導課指導主事	H14.4.1～	

専門高校検討委員会商業分科会設置要綱

(設 置)

第 1 専門高校検討委員会設置要綱第 6 に基づき、商業高校の現状を明らかにし、実情に応じた実効性ある方向性を検討するため、商業分科会（以下、「分科会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 分科会は、次に掲げる事項について専門的、具体的に検討し、その結果を専門高校検討委員会専門部に報告する。

- (1) 商業高校の現状に関すること。
- (2) 今後の商業高校のあり方の具体的方向性に関すること。
- (3) その他検討を要すること。

(構 成)

第 3 分科会は、産業労働局関係者、東京都教育庁関係者及び東京都立高等学校関係者をもって構成し、分科会長及び副分科会長を置く。

- 2 構成員は別紙のとおりとする。

(設置期間)

第 4 分科会の設置期間は、分科会が設置された日から専門部に最終報告する日までとする。

(庶 務)

第 5 専門部の庶務は、学務部都立高校改革推進担当が担当する。

(その他)

第 6 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に関する事項は、分科会長が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年 12 月 19 日から施行する。

専門高校検討委員会 商業分科会 委員名簿

区分	氏名	職名	備考
産業労働局	松尾 享	東京都職業能力開発研修所長	
教育庁	伊東 みどり	学務部都立高校改革推進担当課長	分科会長
	間瀬 友典	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
	石川 恵一郎	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
学校関係者	黒葛原 正展	東京都立池袋商業高等学校長	副分科会長
	久保 孝	東京都立芝商業高等学校長	~ H14.3.31
	齋藤 武捷	東京都立赤坂商業高等学校長	~ H14.3.31
	山崎 功	東京都立第一商業高等学校長	
	山田 研治	東京都立牛込商業高等学校長	
	石川 千尋	東京都立芝商業高等学校長	
	北沢 好一	東京都立第五商業高等学校長	
	倉持 俊義	東京都立江東商業高等学校長	H14.4.1~
事務局	磯崎 美穂	学務部高等学校教育課計画担当係長	~ H14.3.31
	柳沢 祐子	学務部高等学校教育課計画担当係長	H14.4.1~
	森田 明夫	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	~ H14.3.31
	曾根 稔	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	H14.4.1~
	荒井 秀樹	学務部高等学校教育課課務担当係長	H14.4.1~
	高田 憲一	指導部高等学校教育指導課指導主事	~ H14.3.31
	佐々木 哲	指導部高等学校教育指導課指導主事	
	平沢 安正	指導部高等学校教育指導課指導主事	H14.4.1~

専門高校検討委員会工業分科会設置要綱

(設 置)

第 1 専門高校検討委員会設置要綱第 6 に基づき、工業高校の現状を明らかにし、実情に応じた実効性ある方向性を検討するため、工業分科会（以下、「分科会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 分科会は、次に掲げる事項について専門的、具体的に検討し、その結果を専門高校検討委員会専門部に報告する。

- (1) 工業高校の現状に関すること。
- (2) 今後の工業高校のあり方の具体的方向性に関すること。
- (3) その他検討を要すること。

(構 成)

第 3 分科会は、産業関係者、東京都教育庁関係者及び東京都立高等学校関係者をもって構成し、分科会長及び副分科会長を置く。

2 構成員は別紙のとおりとする。

(設置期間)

第 4 分科会の設置期間は、分科会が設置された日から専門部に最終報告する日までとする。

(庶 務)

第 5 専門部の庶務は、学務部都立高校改革推進担当が担当する。

(その他)

第 6 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に関する事項は、分科会長が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年 12 月 19 日から施行する。

専門高校検討委員会 工業分科会 委員名簿

区分	氏名	職名	備考
産業関係	室橋伸彦	東京都職業能力開発協会総務・振興課長	
教育庁	伊東みどり	学務部都立高校改革推進担当課長	分科会長
	間瀬友典	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
	石川恵一郎	指導部高等学校教育指導課主任指導主事	
学校関係者	浅岡廣一	東京都立蔵前工業高等学校長	副分科会長
	大澤充二	東京都立世田谷泉高等学校長	
	田邊泰正	東京都立練馬工業高等学校長	
	本間豊	東京都立北豊島工業高等学校長	
	山上隆男	東京都立つばさ総合高等学校長	
	塚越博	東京都立足立工業高等学校長	
	野上明夫	東京都立向島工業高等学校長	
	三上勝	東京都立科学技術高等学校長	
	橋本三男	東京都立多摩工業高等学校長	
	國廣宗猷	東京都立田無工業高等学校長	～ H14.3.31
事務局	磯崎美穂	学務部高等学校教育課計画担当係長	～ H14.3.31
	柳沢祐子	学務部高等学校教育課計画担当係長	H14.4.1～
	森田明夫	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	～ H14.3.31
	曾根稔	学務部高等学校教育課都立高校改革推進担当係長	H14.4.1～
	荒井秀樹	学務部高等学校教育課課務担当係長	H14.4.1～
	高田憲一	指導部高等学校教育指導課指導主事	～ H14.3.31
	佐々木哲	指導部高等学校教育指導課指導主事	
	平沢安正	指導部高等学校教育指導課指導主事	H14.4.1～